

おめでとう！ さいたま市と新成人 ともに20年！ 平成13年～令和3年 2001～2021 ANNIVERSARY

さいたま市誕生20周年を迎える今年の成人式は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下の1月11日、さいたまスーパーアリーナでオンライン形式で開催されました。

本市での今年の新成人は約1万3200人で、各区の新成人代表の男女10人が「はたちの誓い」を発表しました。

清水勇人市長は式辞で、「自分の生命を大切に、未来のため、大切な人のため、国や世界のためにという志(こころざし)を持って、生きてほしい」と新成人を激励しました。

この様子は動画配信サイトYouTubeで全国公開され、約1万人が視聴しました。



スーパーアリーナ会場に誇ぞろいした10区代表の新成人。
「志を持って生きよう」と激励する清水勇人市長。

Photo: 井出

合併時の各市市長



浦和市
相川宗一

与野市
井原 勇

大宮市
新藤享弘

岩槻市
佐藤征治郎

さいたま市は、平成13(2001)年5月1日に浦和市・大宮市・与野市の3市が合併して誕生。平成15(2003)年4月1日に、旧大宮市域に西区・北区・大宮区・見沼区を、旧与野市域に中央区を、旧浦和市域に桜区・浦和区・南区・緑区を設置し、全国で13番目の政令指定都市となりました。平成17(2005)年4月1日には、岩槻市を編入して岩槻区を設置、彩り豊かな全10区を擁する幸福度No.1都市として発展しています。

ひとりで悩まず相談を！

あなたの「不安や悩み」をお聞きしています

まずは お電話を **048-762-8548**

相談
無料

さいたま市 こころの健康センター

子ども家庭総合センター(あいぱれっと)4F



〒330-0071
浦和区上木崎4丁目4番10号
最寄駅：JR京浜東北線
与野駅下車 東口から徒歩約8分

Photo: 井出

おめでとう！ さいたま市誕生20周年

県民公論 電子版



さいたま市民TV



今年のさいたま市成人式の様子はこちらでご覧いただけます。

市庁舎を新都心駅線路上に

◆さいたま市誕生20周年を迎え、「市役所移転」論議が高まってきた ◆ここで注目されるのが、市政サポートNPOさいたま市民ネットワークが平成30(2018)年に発表した「新市役所は新都心駅直結で線路上複合ビルに！」という大胆計画 ◆線路上空間利用は、「バスヤ新宿」や「ダイヤゲート池袋ビル」等で実証済み ◆現庁舎には麻生内閣時代に計画された「国立メディア芸術総合センター」を復活誘致、駅から県庁までを含めた一帯を、世界最大規模のアニメの聖地にして、本市を国際観光都市として発展させるというもの ◆市誕生20年のいま、庁舎移転問題解決の決定打として研究してみる価値はある ◆これを「線路上の楼閣」としないために。(巨)

県民公論社(県民公論・さいたま市民テレビ・さいたま市民新聞・さいたま市民NEWS)

県民公論

市民と市政のかけはし

KenminKoron

令和2年さいたま市議会12月定例会 清水勇人市長挨拶

県民公論 第1079号

〒330-0073 浦和区元町1-6-12-101
TEL.048-762-7515 FAX.048-762-7623
さいたま市地方記者クラブ
〒330-9588 さいたま市役所本庁舎2階
kenminkoron@sea.plala.or.jp

ウィズコロナ時代の新たな行政サービスへ

■コロナ1年 さいたま市の取り組み

はじめに、新型コロナウイルス感染症への感染が我が国で最初に確認されてから、間もなく1年が経とうとしております。

これまで、本市では、早い段階から、本市における感染拡大に備え、「さいたま市新型コロナウイルス危機対策本部」を立ち上げるとともに、国や県、医療機関等と連携を図りながら、検査・相談体制の強化等を含む医療体制の充実など、市民の皆様への命や生活を守るための取組に全力を傾けてまいりました。

■感染拡大防止と経済活動の両立

全国的な感染状況として、新規感染者数は増加傾向を強めており、市内においても、クラスターが発生するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。今後は、季節性のインフルエンザの流行期とも重なる冬場を迎えることから、新型コロナウイルス感染症との同時流行にも備え、引き続き、感染拡大防止に全力で取り組んでまいります。

その上で、落ち込んだ市内経済を活性化するための取組を推進することで、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ってまいります。

■さいたま国際芸術祭2020

次に、10月17日から11月15日の期間で「さいたま国際芸術祭2020」の作品公開を実施いたしました。

■芸術に肌で触れ 心を動かされる

新型コロナウイルス感染症の影響により、「オンライン」での映像配信や「オンサイト」での作品公開によって、アーティストや市民の皆様によって制作された作品を鑑賞いただく機会を設けることができました。

芸術に肌で触れ、心を動かされる体験をすることの大切さを、私自身も改めて実感したところであります。作品制作に携わった皆様、開催に御尽力いただいた関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

■行政デジタル化の推進

新型コロナウイルス感染症は、行政のデジタル化の必要性を改めて浮き彫りにし、国においても「デジタル庁」の設立に向けた準備が進められているところであります。

本市においても、私自身が本部長となつて、11月に「さいたま市デジタルトランスフォーメーション*1推進本部」を立ち上げたところでございます。

今後、この本部が中心となつて、行政手続きのオンライン化や、データを活用した政策形成などを推進し、市民サービスの向上と市役所業務の効率化を強力に進め、ウィズコロナ、アフターコロナ時代における新たな行政サービスのあり方を、スピード感を持って具現化してまいりたいと考えております。

令和2年度さいたま市議会
12月(11月繰上げ)定例会 市長あいさつ
令和2年11月25日

コロンちゃんの 用語かいせつ

県民公論のマスコット

コロンちゃん
が
難しいことばを
やさしく
解説します。



* 1「デジタルトランス フォーメーション」=

略称:DX。デジタル技術
を浸透させることで人々
(市民)の生活をより良い
ものへと変革すること。

業務効率・生産性の向上
・業務の効率化
・デジタルに合わせた
ルールや運用の見直し



市民サービスの向上
最新のICT・他自治体
事例等の研究・活用



デジタルトランス
フォーメーションの
推進





一般質問 2番11月30日
民主改革

岩槻区
高野秀樹
Takano Hideki

Q【高野秀樹】

義務教育学校の設置を考えたとき、西原小・中学校(岩槻区)のように、小学校と中学校が1対1で合致している学校が最適ではないか。

A【教育長】

西原小学校・中学校は、小学校区と中学校区が1対1で、校舎も隣接している。教育課程の9年間の一体化というカリキュラム・マネジメントが大変重要になっている。

令和3年度に、小学校高学年の教科担任制を、人事配置も含めて研究するモデル校の一つとして、西原小学校・中学校を準備校として考えている。

一般質問 4番11月30日
公明党

北区
関ひろみ
Seki Hiromi

Q【関ひろみ】

市立中学校へ自動販売機を設置することは、熱中症対策、防災機能の強化、生徒・保護者の利便性向上、自主財源の確保、感染症拡大防止など様々な効果が期待できる。

A【教育長】

自動販売機の設置については、指摘の通り、熱中症対策に加え、避難所になった際の防災機能の強化、学校を利用する方々の利便性向上にも資すると思う。また、自主財源の歳入確保が図られ、利点が多い。

中学校への自動販売機の設置については、学校の要望も聞き

一般質問 6番11月30日
民主改革

西区
出雲圭子
Izumo Keiko

Q【出雲圭子】

ボール遊びの対応について、子供たちが伸び伸びと遊べる環境は整っているか。

A【都市局長】

本市都市公園では、危険なボール遊びだけではなく、原則ボール遊びを禁止している。今後、子どもたちとのコミュニケーションの取り方について検討する。別所沼公園や沼影公園など市内29の公園ではボール遊びが可能な広場として整備を行っている。

今後、ボール遊びが可能な環境や課題などを把握するとともに、公園の更なる活用の可能性について、関係部局と検討する。

一般質問 1番11月30日
日本共産党

浦和区
鳥海敏行
Toriumi Toshiyuki

PCR検査1日1千件可能

Q【鳥海敏行】

1日当たり1,000件の検査ができる体制が整ったとのことだが、今後どのように体制を維持し推進していくのか。

A【保健福祉局長】

11月25日現在で、市内253の医療機関等と行政機関に係る契約を締結しており、現時点で1日当たり1,000件を超える検査が可能であると推計している。

また、「検査可能な医療機関が小学校区のような身近な範囲に1・2か所ある環境」を目標として取り組んできた結果、市内において半径2km圏内に検査可能な医療機関がある環境が構築できた。

一般質問 3番11月30日
無所属

北区
吉田一郎
Yoshida Ichiro

大宮独立論に市政功労賞

Q【吉田一郎】

今年度の市政功労賞表彰者として、大宮市のさいたま市からの独立を掲げるなど、さいたま市に対し破壊活動が続けている私に授与する理由は何か。さいたま市は合併を解消すべきだといった言動も含め、市政に貢献しているとみなしているのか。

A【副市長】

市政功労賞の受賞については、公平公正を期す観点から、基準となる職や在任期間に基づき選定しており、質問の市議会議員については、在任期間が10年以上の方々を、地方自治功労の表彰対象として選定している。議会局が在任期間10年以上という条件を満たしている方を推薦している。

一般質問 5番11月30日
日本共産党

中央区
竹腰連
Takekoshi Ren

シントシティの保育ニーズ

Q【竹腰連】

SHINTO CITY(さいたま新都心、大宮区北袋町、1411戸)建設に伴う、保育ニーズの高まりにたいする市の対応は。

A【子ども未来局長】

シントシティ建設によって、令和4年4月までに新たに約500人の保育需要が見込まれるので、平成29年度からさいたま新都心駅周辺地域を「保育所整備重点地域」に設定。

令和3年4月には、シントシティから、自転車で無理なく通える2キロメートルの範囲に、10施設・定員591人分の認可保育所や小規模保育事業所の開設を計画している。さいたま新都心駅周辺の保育の受入枠の確保に取り組む。

一般質問 8番12月1日
さいたま自民党

西区
稲川智美
Inagawa Tomomi

川越線複線化実現

Q【稲川智美】

JR川越線複線化を求める署名が地元から多く集まっているが、市ではそのことを重く受け止め、JRへ働きかけていく強い意志はあるのか。

A【都市局長】

現在、西区と北区の川越線沿線地域で川越線の早期複線化を求める、多くのご署名が集まっていることは、川越線の利便性向上や複線化に対する多くの市民の皆様の期待の表れであると認識している。

本市としては、川越線沿線の土地区画整理事業や大宮駅グラウンドセントラルステーション化構想など、まちづくりの計画や進捗状況をJR東日本に認識させ、積極的に働きかけを行う。

一般質問 9番12月1日
無所属

南区
川村 準
Kawamura Jun

マンホールの広告化

Q【川村 準】

所沢市では、マンホール蓋に広告を掲載し事業収入を得ている。本市においても、広告を募集して財源を確保できないか。

A【建設局長】

他都市において、下水道のマンホールに民間事業者などの宣伝広告を有料掲載して、新たな収益を生み出し、下水道施設の整備や維持管理費用の一部にあてている事例はある。

さいたま市型のマンホール蓋は、市のロゴマークを中心に置き、市の花「サクラソウ」、市の木「けやき」、市の花木「桜」を配置、平成15年より使用。マンホール蓋に広告を掲載することについて、本市の実情に見合った手法に関し、今後研究する。

一般質問 11番12月1日
自民党市議団

岩槻区
新井森夫
Arai Morio

地下鉄7号線延伸実現

Q【新井森夫】

地下鉄7号線延伸認可事業化実現期成会から出された要望書に対しての回答と、延伸に向けての見解は。

A【都市戦略本部長】

①埼玉県や川口市と連携し埼玉高速鉄道の利用促進に努める。
②まちづくりの推進にあたっては、地域との連携を図りながら、埼玉県及び目白大学との連携強化に努める。
③鉄道事業者による事業着手には、関係者との合意プロセスの進捗によって、明確にする。

地下鉄7号線の延伸は、本市の発展を担う大変重要な事業であると思うので、しっかりと延伸の実現に向けて、取り組む。

一般質問 13番12月2日
民主改革

岩槻区
松本 翔
Matsumoto Sho

太田資正の積極的活用

Q【松本翔】

戦国時代の地域領主であるおたすけまさ太田資正の歴史資源としての活用について。

A【副教育長】

太田資正は、16世紀半ば頃、岩付城を拠点として、現在の埼玉県南部および東部を中心とする地域を支配し、当時小田原城を拠点に勢力を拡大してきた北条氏と戦うなど大いに活躍した人物である。太田資正については、平成17年度実施の、特別展「戦国時代のさいたま」で紹介、約1万人が参観した。市民の郷土意識が、持続可能な伝統・文化の継承につながるの重要と考える。

今後、本市ゆかりの歴史上の人物の有効活用に努める。

一般質問 15番12月2日
さいたま自民党

桜区
島崎 豊
Shimazaki Yutaka

中浦和駅周辺のまちづくり

Q【島崎 豊】

中浦和駅(JR埼京線、南区鹿手袋)周辺のまちづくりについて。

A【都市局長】

こけし橋の利用者が、安全に通行できるよう、新たに手すりを設置した。現在、別所沼通りに安全な歩行空間を整備するため、外側線の位置を見直すことや、自転車通行帯の設置などについて、交通管理者との協議を進めている。

今後、中浦和駅周辺地区において、JR東日本との具体的な協議が必要となった場合には、関連部局と連携し、包括的な協議も含めて、検討する。併せて、個別の実情による課題の取り組みについては、これまで同様に、JR東日本への協議や依頼を行う。

一般質問 10番12月1日
民主改革

大宮区
西山幸代
Nishiyama SaChiyō

子どもを性暴力から守る

Q【西山幸代】

子どもが性暴力の当事者にならないための教育について、取り組みは。

A【教育長】

具体的には、水着で隠れるところは、他人には見せない・触らせないことを小学校低学年から指導し、小学校高学年以降は、SNSの取り扱いや、デートDV防止等、性に関する教育は人権教育であるという視点に立った指導をする。

令和元年度末3月、埼玉県教育長と共に、わいせつ行為を行った教員が二度と教壇に立つことがないように、免許に係る制度の見直し等について、文部科学省に直接要望をした。

今後、児童生徒がSOSを出しやすくする相談体制を強化する。

一般質問 12番12月2日
公明党

桜区
西沢鈴子
Nishizawa Reiko

ヤングケアラー支援

Q【西沢鈴子】

学校でのヤングケアラー(学校に通いながら、障害や病気のある親族などの介護や世話をしている18歳未満の子ども)支援について。

A【教育長】

様々な理由で家族の介護や家事に従事しなければならない児童生徒が、教職員に対して相談できるよう様々な相談窓口で周知し、相談しやすい環境づくりに努める。必要に応じて各区の支援課や福祉課等と連携を図り、適切な支援を行う。

教育委員会としては、ヤングケアラーの状況や気持ちに寄り添い、きめ細やかな支援を行える環境を整え、その充実に努める。

一般質問 14番12月2日
自民党彩成会

岩槻区
江原大輔
Ehara Daisuke

仲町りんどう公園

Q【江原大輔】

仲町りんどう公園(岩槻区)の整備進捗状況は。

A【都市局長】

令和2年11月末までに、芝生の多目的広場、遊具広場、防災パーゴラ、かまどベンチを設置した。工事は令和2年11月30日に完成し、公園名称は、自治会からの提案を受けて「仲町りんどう公園」とした。遊具広場の芝生が、令和3年5月末までの養生期間となるので、公園の全面供用開始は、6月になる見込み。その時は、地域の核となって、新たな交流の場の創出に、つながるものと期待している。加えて、地域の防災訓練の場などとしても、活用していただけるものとする。

一般質問 16番12月2日
公明党

見沼区
斉藤健一
Saito Kenichi

春おか広場の活用

Q【斉藤健一】

農業及び食の流通・観光産業拠点の一体的整備事業における新設の地域経済活性化拠点(道の駅)と地域コミュニティについて。

A【経済局長】

地域活性化拠点施設内には「多目的スペース」として約350㎡の設置を予定。事業地近接の「春おか広場」内にある研修施設は、来年度に工事の完了を予定。将来的には、新しく改修された「春おか広場」の研修施設と、地域経済活性化拠点の多目的交流スペースとの連携活用で、春岡地区の活性化が図れるものとする。さいたま市と我が国の経済成長に寄与する施設として整備を進める。